

目標達成計画

作成日: 令和 5 年 10 月 9 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	21	身体機能・認知状態により、理解力や出来る事に差があり利用者の性格もプラスされ、生活の中で摩擦がおき、孤立される利用者がおられる。	一人ひとりが孤立される事なく助け合い、家族のように穏やかな暮らしが出来る。	①利用者が得意な事出来る事出来ない事を把握し、職員間で共有させて頂く。 ②認知状態により理解の難しい時には、他利用者前で無理に強要しない。 ③得意な事を見つけ失敗のない工夫・声掛けで挑戦して頂き、自信が持てる様支援させて頂く。	6ヶ月
2	40	1番の楽しみである、食事を大切にしたい。	毎食、笑顔で完食でき、心身共に元気な暮らしが維持出来る。	①普段の会話やレクリエーションの中から好きな食べ物を聞かせて頂き、献立に取り入れる。 ②季節の食材で季節を感じて頂くようにさせて頂く。 ③野菜の下準備等を一緒にさせて頂く。 ④個々の咀嚼・嚥下状態に合わせ食事形態変更。 ⑤食事は楽しい雰囲気の中ゆっくり摂取して頂く。	12ヶ月
3	48	忘れていく事・出る事が減り不安な世界で生きておられる利用者が残存機能や感情に訴える事で、自分はまだまだ必要とされ大事な人であると感じて頂く事は必要である。	役割りを持ち、生き生きと生活出来る。	①個々に出来る役割を決め、日課として継続出来るように声掛け・準備をさせて頂く。 ②天気の良い日は庭の散歩や庭の花を職員とホールへ生けさせて頂く。 ③得意な事好きな事が継続出来るように寄り添い出来た事には共に喜び自信が持てるように支援。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。